Noblerot

Even when I was in a crowd,
I was always alone.
(Ernest Hemingway)

■ごあいさつ
はじめまして or お久しぶりです、飯本晴です。
2年振りの個人誌で、しかも新ジャンル（アニパロ）です、でも下の前の振りやってる事は変わらずです、と、言うわけでノワールです、どのジャンルへ行ってもマイナー路線なのも変わらずですね（苦笑）、な為かつ放送終了後1年近く経ってからの本だし…。

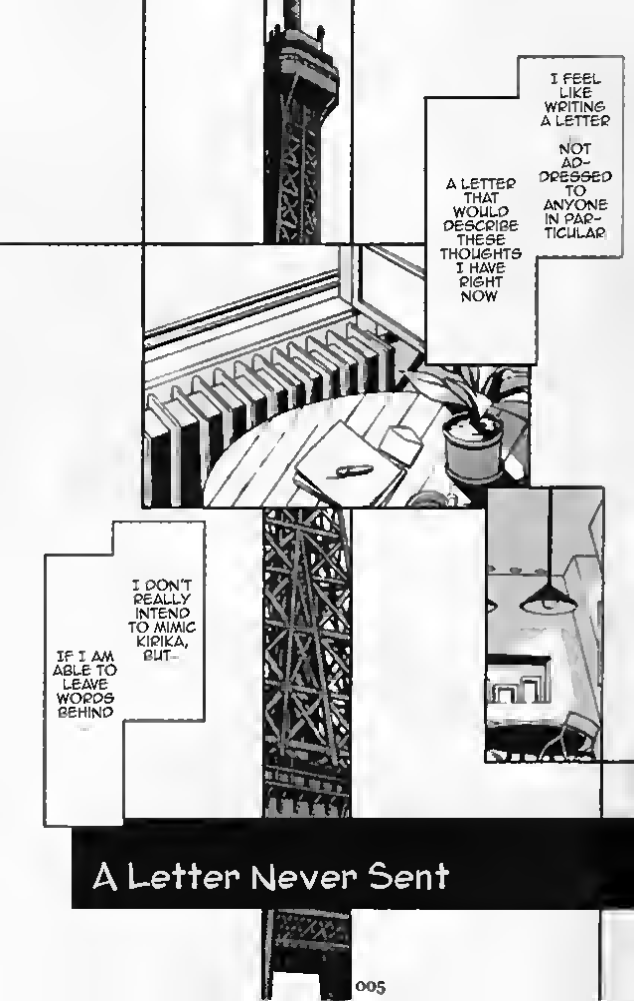
■とりあえず注意事項
①この本はテレ事アニメ『ノワール』のファン本であり、ネタバレを含みます。
　つー か観賞対象で観た上でご購になる事をオススメ致します。
②この本は個本晴個人の解釈により制作されています、為等に対する感想等はメールか郵便文面にてお申し付け下さい。

■んでノワールの事
2001年頃、ある日友人宅に訪った時、レンタルビデオ屋で気になる金髪おねいちゃん（スリット入りミニスカ）を目見したのが全ての始まりでした。その日にビデオ1巻を見た瞬間に、堕ちました。即死です、為みはありませんでした。
ってゆーか金髪ギャルがモモフト今時で銃を事ねていくのですよ！見ない訳にいきません。テレ観がない生活がこんなにも苦痛だなんて知りませんでした。（私は3年前から観為視在住）

つー訳で観は、普段なら全観見てからでないと『DVD全巻買い』なんて絶対にしなかったのに、このノワールに対しては未見での DVD個人を決購したのでした。あーあ。

■んで今回の本の事
本を作ろうと思いさったのは、DVDを観おうと観ったのと同時でした。
『面白かったら本を作ろう。面白くなかったら、「オレならこうする!!」という本を作ろう。』ってのが今回のスタンス、私の観れでありました。（仕事の合間にちょこちょこと観いて、制作に4ヶ月もかかったので、かなり観れチックでした）

さて、私の観れの飯本をご覧下さい。


I FEEL LIKE WRITING A LETTER
NOT ADDRESSED TO ANYONE IN PARTICULAR
A LETTER THAT WOULD DESCRIBE THESE THOUGHTS I HAVE RIGHT NOW
I DON'T REALLY INTEND TO MIMIC KIRIKA, BUT—
IF I AM ABLE TO LEAVE WORDS BEHIND
A Letter Never Sent

SORRY TO KEEP YOU WAITING ....
MIREILLE
IT'S ALL RIGHT! YOU'RE LOOKING PRETTY
LET'S SETTLE ON THIS ONE
DOESN'T IT LOOK STRANGE ?

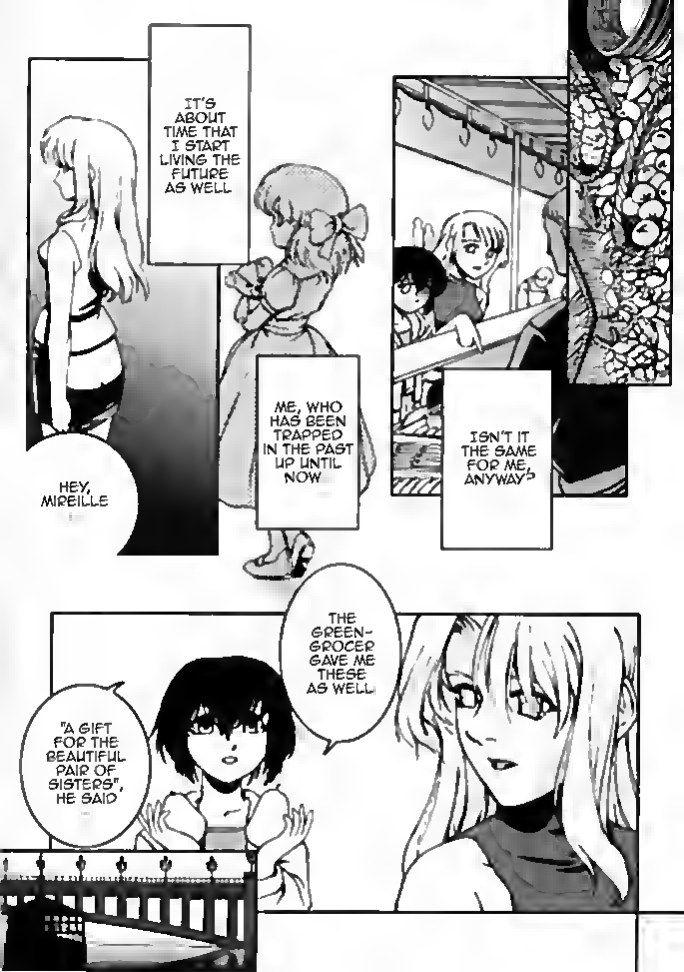
AFTER THAT TIME, WE'D RETURNED TO PARIS
WE DON'T ACCEPT ASSASSINATION JOBS ANYMORE
THE PILGRIMAGE HAS ENDED, AFTER ALL
WELL, IT'S NOT LIKE WE CAN DO ANY OTHER KIND OF JOB
RIGHT NOW, WE JUST SPEND DAY AFTER DAY ENJOYING THE MOMENTS OF PEACE THAT WE ARE GIVEN

THE PILGRIMAGE TO OUR PAST ....

BOTH ME AND KIRIKA
WE LOST MANY THINGS
IN THE END,
KIRIKA REMEMBERED NEITHER HER TRUE NAME NOR HER CHILDHOOD.
NOTHING BUT TINY BITS AND PIECES OF HER MEMORIES HAS RETURNED, AS IT SEEMS
BUT IN MY OPINION,
EVEN IF THE NAME AND MEMORIES OF— THAT CHILD RESURFACED, IT WOULDN'T CHANGE ANYTHING

AT THAT TIME, THAT CHILD'S SOUL MUST HAVE BEEN ALREADY DEAD.
MOST LIKELY, ALL THAT KIRIKA HAD EVER KNOWN WAS HOW TO KILL
NOT HER NAME, THE FACES OF HER PARENTS, THE VALUE OF HUMAN LIFE
LIVING LIKE THIS, DID THAT GIRL EVEN HAVE ANYTHING WORTH CALLING "MEMORIES"?
UNAWARE OF HER OWN EXISTENCE
JUST LIKE A DOLL
AFTER ALL, A DOLL HAS NO USE FOR A SOUL.
MUCH LESS FOR MEMORIES.

THE NAME SHE RECEIVED WHEN SHE WOKE UP WITH NO MEMORIES, WHEN SHE ENTERED THE SOCIETY FOR THE FIRST TIME
IS THIS NOT WHAT MARKS HER TRUE BEGINNING AS A HUMAN BEING?
ON THE OTHER HAND, THE NAME "YUUMURA KIRIKA"
HER TRUE NAME IS OF NO CONCERN
THAT'S WHY I THINK IT'S ALL RIGHT FOR HER TO LIVE HER FUTURE AS YUUMURA KIRIKA
AND THIS TIME,
SHE CAN BE THE PERSON SHE WANTS TO BE
SAD MEMORIES, JOYFUL MEMORIES
SHE CAN CREATE THEM AGAIN FROM NOW ON, AS YUUMURA KIRIKA.
THAT'S WHAT I THINK

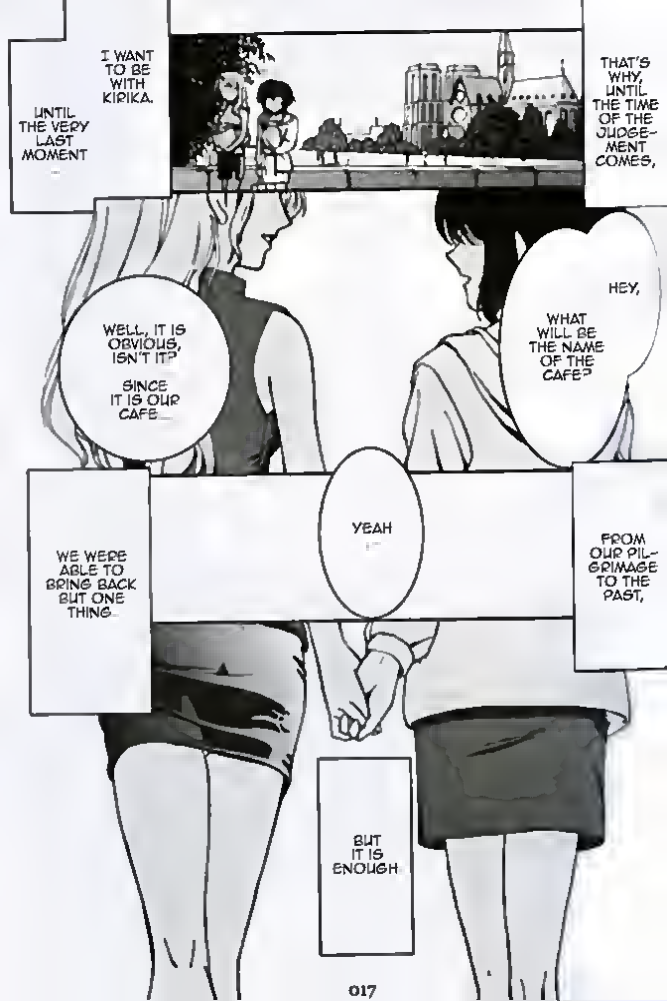

IT'S ABOUT TIME THAT I START LIVING THE FUTURE AS WELL
ME, WHO HAS BEEN TRAPPED IN THE PAST UP UNTIL NOW
HEY, MIREILLE
ISN'T IT THE SAME FOR ME, ANYWAY?
THE GREEN-GROCER GAVE ME THESE AS WELL
"A GIFT FOR THE BEAUTIFUL PAIR OF SISTERS", HE SAID

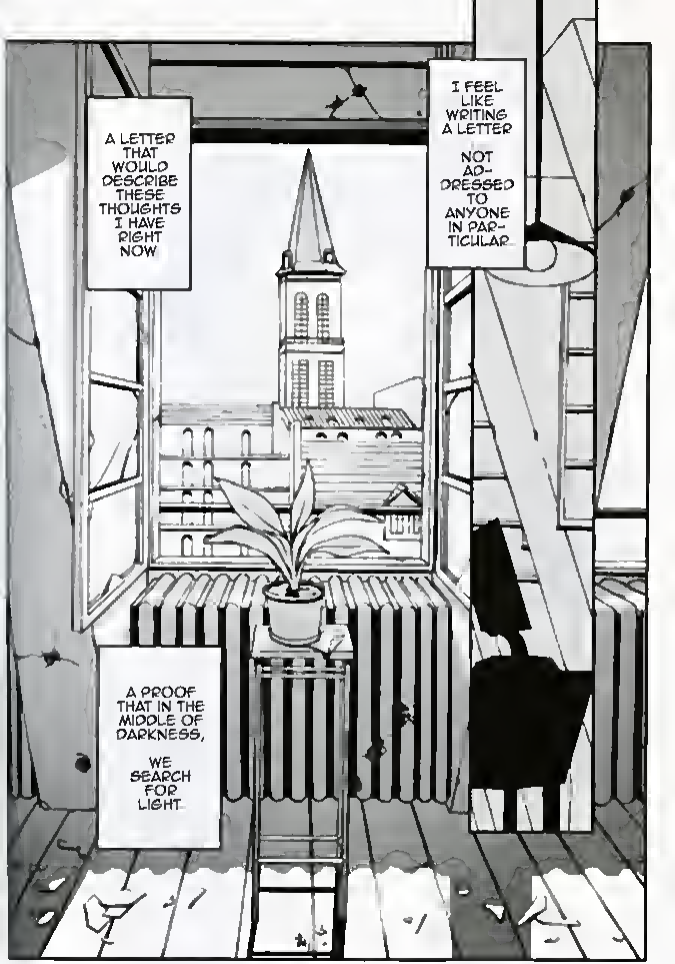
EVEN THOUGH YOU AND I DON'T LOOK LIKE SISTERS AT ALL
HUH?
"IN A HAPPY FAMILY, THEIR FACES ALL LOOK ALIKE,
HOWEVER, IN AN UNHAPPY FAMILY, EVERY PERSON'S FACE IS DIFFERENT"
IT'S TOLSTOY

BREFFORD SAID IT
THE TRUTH IS THAT OUR HANDS ARE BLACKENED
AND I WON'T DENY IT
THAT SAID, IT'S NOT LIKE OUR SINS HAVE BEEN FORGIVEN
THAT DAY
APPARENTLY WITH ALTENA'S DEMISE THE RITUAL HAD BEEN COMPLETED
AND WITH OUR CONSENT OR WITHOUT THE NAME OF NOIR WAS BESTOWED UPON US
ONLY BECAUSE OF THAT THE COUNCIL AND THE FUNDA-MENTALIST BRANCH WERE ABLE TO MAINTAIN PEACE AT LEAST ON THE SURFACE
THEY DON'T REALLY HAVE TIME TO DEAL WITH US RIGHT NOW

WE WILL ALWAYS LIVE IN THE DARKNESS.
THIS IS OUR PUNISH-MENT.
FOR THEM, GETTING RID OF THE TWO OF US WOULDN'T BE A PROBLEM
HOWEVER, THERE IS NO TELLING WHEN SOLDATS WILL DECIDE TO TURN AGAINST US
UNTIL THE END OF OUR DAYS,
WE HAVE TO LIVE WITH THIS FEAR.
OH, MY

I HEARD THAT THIS PLACE HAS DELICIOUS BLACK TEA, BUT THE TEA PREPARED BY YOU IS MUCH BETTER...
THAT'S RIGHT!
HOW ABOUT WE START A CAFE TOGETHER?
SINCE PREPARING TEA SEEMS TO BE THE ONLY WAY FOR YOU TO MAKE A LIVING...
BUT WHAT ABOUT MEALS AND SUCH?
I WILL BE MAKING THEM, OF COURSE!
...YEAH
IT SOUNDS LIKE FUN
THAT'S WHY...
WHAT'S WITH THAT FACE!?


I WANT TO BE WITH KIRIKA.
UNTIL THE VERY LAST MOMENT
THAT'S WHY, UNTIL THE TIME OF THE JUDGEMENT COMES,
HEY,
WHAT WILL BE THE NAME OF THE CAFE?
WELL, IT IS OBVIOUS, ISN'T IT?
SINCE IT IS OUR CAFE
YEAH
WE WERE ABLE TO BRING BACK BUT ONE THING
FROM OUR PILGRIMAGE TO THE PAST,
BUT IT IS ENOUGH


I FEEL LIKE WRITING A LETTER
NOT ADDRESSED TO ANYONE IN PARTICULAR
A LETTER THAT WOULD DESCRIBE THESE THOUGHTS I HAVE RIGHT NOW
A PROOF THAT IN THE MIDDLE OF DARKNESS,
WE SEARCH FOR LIGHT

■あとがき
お付き合いありがとうございました．ノワール鑑賞中やこの本を計画・作成中は，娘の方の描き受けるのを感じてノワールファンサイトの二次創作やレビューを殆ど見ませんでした（かれこれ1年近くガマンしたっす）．今回私がやった内容って，娘に娘の方がやってる可能性もあるかなぁ，と心配です（娘アニパロなのでなおさら）．
さて脱線したら本格的にサイトめぐりしよーっと．

■アニメ鑑賞のこと
最近はネット環境普及のせいもあり，掲示板やチャット等の盛り上がり方が違いですね．以前よりリアルタイムでアニメを見る醍醐味や楽しみが増してきた気がします．ああ，ファンサイトでもっと盛り上がりたかったなぁ，と．（うわけでこれを同に私もスカパー購入しました．お願いAT-X，もうちょとテレ東アニメを早く放送して…．

■サークル活動なんか
私の描く女性は両目が良すぎると同人間描されるので，今回の本ではスリムボディーを目指したのですが…．私にしては頑張った方です（苦笑）．しかし…．4ヶ月も同じ原稿やってたせいか，キャラの絵がコロコロ変わってしまい何ともかんとも．今回ペン入れは相変わらずアナログですが，ベタやトーン，写植をPCで処理するのにチャレンジしました．プリンターの最適条件を模索したり，トーンのアミをシミュレートしたりとか…．新鮮で楽しかったけど大変でした（結局普段より時間かかったし…）．なので今は気持にレーザープリンターが欲しいです．
次回本を作るときはデータ入稿に挑戦してみたいですね．
それと私が漫画を描くと同人背景が多くなってしまい制作に時間がかかってしまいます（背景描くのは苦手だし描けっす，描けてー！）いつも「次回こそはお気楽な本を作ろう！」とか思ってるのですが…．しかも今ちょっと興味のあるテーマが「ゴスロリ」っす．うわーマイナーそう．描くのに手間がかかりそう．またもやイバラ道の予感…．
そんな訳もあって（ゲームもやりたいし…）非常に不定期な活動しているサークルですが，見かけたらお気軽に声を掛けて下さい．

■さいごに
拙著なゲスト原稿依頼を受けてくれた水口さんありがとうございました．
何時もそんなに爽やかに描けるのか教えて下さい．

ノワールを愛した全ての人に
この本を捧げます．

Even when I am alone,
I am not completely alone.

(Cicero)

発行元　クランケンクランノ
発行日　００　８　９
印刷所：大陽出版株
連絡先：９６１　０８５６
福島県白河市新白河２　４８
玉屋ビル　３０２号

仲澤　千鳥

email：amane@mx5.et tiki ne jp
URL：http://mx5.et tiki ne jp/~amane

iew

霧香 Kirika

黒き霧子は無垢の女らかなるを護り給う
霧女は「現在」の象徴にして「技」の具現。

記憶喪失＆自分探しというのは使い古されたテーマではありますが、私にとっては非常にツボでありんす。と、言うわけで霧香は好みのキャラです。それに彼女の「記憶喪失＆感情欠如」は安易な設定でなく、意味のある物だったと思います。

彼女の過去に関しては漫画で触れた程な現実をしています。つまり彼女はあれたのではなく、最初から記憶らしい物がない、と。
(クロエが催眠を解いたのに、霧香も黒霧香も記憶が霧味だし)
物心つく前から殺人術のみを教え込まれた霧女は、自我そのものが育たなかった(感情欠如も同)。且、道徳と殺人に対する呵責はあったのだと思います(きっかけはオデットかも)。
その為、霧女のアサシンとしての生活は、そのまま精神的虐待の日々だったのではないでしょうか、子供の虐待を受けた人で、当時の記憶がないという事例もあります。霧香もその類なのかなぁと思います。

又同じ理由で、霧香は解離性同一性障害であり、幼少の頃から黒霧香が表人格として発現していた、という見方もできます。アルテナは催眠を施し、奥に隠れていた霧香の人格を表に出して試練を与えた、と考えた方がシナリオ的に自然ではないでしょうか。
(記憶を失ったというのは、霧香の人格のみが発現した為に、結果的に記憶が無いだけ)

ノワールとは与えられる飾りではなく、自らの意志で成るもの。
霧香はノワールとしての「技術」はあったが、「意志」や「意」が足りなかった。このまま(黒霧香)では単なる殺人機械であり、人としてのノワールではない。だからアルテナは霧香に『自覚』の試練を与えたのではないでしょうか。
霧香の記憶を奪い、自由を与え、人としての情緒(罪悪感を覚える殺人やミレイユへの情)をアルは、最終的には罪と使命の名の元に「わたしには殺人の道しかない」という自覚を植え付ける、そんな、自分の意志でノワールになる為の試練だったのではないでしょうか。(故にアルテナは黒霧香ではなく、霧香が彼に手を染める事を望んでいたのだと思います)

最後に霧香はノワールとしてでなく、
夕霧霧香として笑を背負う。
それは霧香が黒霧香を己の中に受け入れた、人としての『霧生』なのでしょう。

review
of
Mireille

黒き衣は乳飲児を闇より分かつ縄ならむ
娘女は「通人」の象徴にして「体」の具現。

はい、このみがいらっしゃらなければノワールを見るきっかけは有りませんでした。（何様か敬語）
つーか容姿が好み過ぎます。キャラ背景も、お構で、細い通人があって、しかも通人引きずってて、性癖は乱婦、と申し分有りません（自分のシュミに同機あるカも知れませんが…）。
機一関ったのはその髪型。右のこめかみの辺りが上手く描けないデス。（なので描き易いようにすえちゃいマンタ）

娘女も商品として試練をうえられていた、という事を改めて考えると、非常に恐ろしい気がします。多分コルシカでもルが数百される娘から計画は進んでいたのだと思います。クロード根父さんがミレイユを調教者に育てたのも、ヤ母・娘りさせたのも試験の一環だったのでしょう。そしてらく娘香と出会う以前から、アルテナは試練となる引きレイユに依頼していたのだと思います。
ミレイユにうえられた試練、それは（ブーケが）ソルダを連れようとしても、周からは抜け出せないという「囲」だったのではないでしょうか。

クロードも勿々それに気がついていたのだと思います。娘の草花を育てる趣味もその為かも。娘香を殺せばミレイユがノワールとなれる事も知っていた。けれどミレイユの気持ちを踏みにじれなかった。そして最後まで思いを胸に秘めて逝ったのかなぁ、と考えると感無量なキャラですね。

このように考えると、娘香とミレイユがパートナーになったのも計画として納得できます。
「娘人形」「愛」「絆」「罪」「娘香」と、二人の間にはノワールの娘本にとっての光と水が豊富に降り出すのだから。

そうそう、DVDのライナーノート見るまで、ミレイユは絶対20代だと思ってました。少なくとも娘香よりは5才若いうろうなぁ、と。しかし実は17才で娘香とタメとわ！
いやぁ今の所にイロイロな所がしっかりなさっていてオッサン感激です（ホロ）。17才じゃミレイユがを少々タレても許されるやん、姐さんステキ!!
オデットさんも非常に好みのキャラです。ママと呼び娘香の話とか聞いてみたいなぁ。

Wings of Yuri

SCANNING	???
TL/EDITING	WINTERRAID
TL CHECK	SHIJIMA

"NOBLE ROT" IS THE BENEFICIENT FORM OF THE FUNGUS 'BOTRYTIS CINEREA', WHICH AFFECTS WINE GRAPES; INFESTED GRAPES PRODUCE PARTICULARLY FINE AND SWEET WINE. INFESTATION REQUIRES MOIST CONDITIONS, HOWEVER, IF WET WEATHER PERSISTS, THE FUNGUS ASSUMES ITS MALEVOLENT FORM – THE "GREY ROT" – WHICH CAN DESTROY CROPS OF WINES. (EN.WIKIPEDIA.ORG)

"NOBLEROT" IS AN ALBUM BY 'ALI PROJECT'.

http://www.solela.com

Kaze © 2001 Ryou Tsukimura - Bee Train - Victor Entertainment